

平成 26 年度

第 16 回山梨県公立小中学校事務研究大会 報告

平成 26 年 10 月 23 日 (木) 14 : 00 ~

会場 : 山梨市民会館 3 階大集会室 (千鳥の間)

平成 26 年 10 月 23 日 (木) 山梨市民会館において、第 16 回山梨県公立小中学校事務研究大会が開催されました。用意した机椅子が不足するほど多くの方に参加していただき、有意義な研修会となりました。

第 46 回全国公立小中学校事務研究大会 (静岡大会) 環流報告

県教委指名参加者の甲斐市立玉幡中学校の三森かおるさん (レポート発表担当)、上野原市立上野原中学校の水野学さん (司会担当)、山梨市立山梨小学校の砂山玲央さん (パワーポイント作成・操作、レポート発表担当) より、静岡大会の環流報告がされました。今回の大会は、山梨県が分科会を担当したこともあり、3 名からそれぞれの役割をとおした話しを聞くことができました。レポートをとおして山事研の活動を身近に感じた、分担をこなす若い人の姿が頼もしくモチベーションが上がった、分科会のイメージを考えそれに近づけるような司会を心かげた、荷が重いと思っただがよい経験となった、普段触らないパワーポイントだったがソムりんを登場させてスクールソムリエのイメージ化を狙った、担当をしたことで普段は話せない先生と話せいろいろ大事なことを学べた...等、貴重な経験について聞くことができました。



研修「ワークライフバランスについて ~時間管理術による働き方の見直し~」

社会保険労務士の小林和美さんが講師をしてくださいました。小林さんによると、ワークライフバランスとは、ワークとライフのハーモニーのこと。50/50 でなくても良い・決まりはないもので、子育て期・中高年期等、時期で変わるもの。それぞれの相乗効果を生み出して自分らしい生き方をするとということだそうです。

*** 時間管理術 ***

*** 24 時間表を付けてみましょう ***

表にすることで「先延ばし癖」「凝り性」「振り回されたこと」等、「時間泥棒」の犯人が分かります。また、「やりたいこと」がどこに入れられるかも考えられます。

*** スケジュールリング ***

基本は、「自分の持ち時間」と「なすべき仕事」を「目に見える」形で把握すること。時間マトリックス (右図)

で優先順位をつけましょう。日誌をつけて未来を予測したり、割り込まれるのを防止するため関係者に自分のスケジュールを伝えたりするとよいです。また、細かく設定すると守れなかったときにストレスになるので、タスク (項目) でスケジュールリングをするのがおすすめです。



最後に、「目標をたてるということ」という話がありました。なぜ、時間がほしいのでしょうか？人生の目的を把握することが、時間管理の基礎の基礎とのことです。

| 重要度/緊急度 | 緊急 | 緊急ではない |
|---------|---|--|
| 重要 | 第I領域 ・危機や災害、事故、病気 ・締め切り直前のタスク ・クレームへの対応 ・直前に迫った会議の資料づくり | 第II領域 ・人間関係づくり ・体力づくり ・スキルアップ (自分を磨くこと) ・準備や計画 ・適度な息抜き |
| 重要ではない | 第III領域 ・無意味な電話やメールへの対応 ・突然の来訪への対応 ・多くの会議 ・無意味な接待やつきあい ・多くの報告書 | 第IV領域 ・暇つぶし ・長時間、必要以上の息抜き ・だらだらとした電話 ・世間話 ・その他、無意味な活動 |